

嘉義に至る

新港街は嘉義の東一里にあり朴仔脚は其の西五里三十町なる朴仔溪の左岸にあり川に沿ふて下ること約三里にして東石港あり繫舟に適す北掌溪は嘉義の東方に位する頭東山拔海千二百米突に發し溪間の細流を合せ鹽水港の西を流れて海に入る河口は即ち蚊港口なりとす之より下荖茄庄安溪繫土庫庄を経て午後三時新營庄に着す鹽水港は西の方一里にあり

▲新營庄 急流溪あり新營庄の南邊を屈曲西流して王爺港に注ぐ

州仔庄の邊りに池あり下橋甘水と稱す芽港尾は較々人家あり稅爺庄溪爺庄溪低繫を經曾文溪の流れは源を馬頭山に發し拔海八百二米突南流して劉陳に至り二派に分れて海に入る川幅百米突に餘れり(四里十二町)

曾文溪 畫發す

之より州仔尾庄に至るまでの間殆ど三里許多くは水田のみ

▲臺南 古の臺灣府にして元と和蘭人の據りし處

又鄭成功雄視の古城たり市街の壯麗臺北に及ばずと雖商業の隆昌本島第一たるべし其鄭成功孔子廟兩廣會館の如きは殊に世に著しきものなり其重なる旅店は浪芳館四春園等なり

安平は臺南の西一里二丁餘の地にあり船舶輻湊し戎克貿易最も旺盛を極む

安平砲臺は安平港の左右にあり往昔蘭人の築きし所今は軍事上毫も効用を爲さずといふ安平よりの歸路川船あり賃金五錢を投ずべし

臺南より東北三里十四丁にして關帝廟庄街あり廟は開山神社と稱す尙は岡陵と溪水とを上下し七里十二丁にして蕃薯寮に至り更に下淡水溪を越ゆれば眉濃庄に至る蕃界に近し

府を後へにして二里強を行けば大湖街あり臺中の大湖街と名同ふして地異れり喜樹庄灣裡港新港は此の海濱に在り(六里)

阿公店 次で南仔坑は南部に稀なる清水の湧出するを以て知らる戸數二三百萬丹港片丹港は其西方一里半にあり

▲鳳山城 田畦に通じ赤山仔庄を經赤山庄を右

に避けて鳳山に旅せしものは必ず打狗に遊ばざるものあらず乃ち城門を出づれば滿目稻波汪洋として人は正に岐路に迷ふべし西の方二里二十四丁にして打狗に出づ清佛戦争後の開港地にして船舶の輻湊甚だ盛なり旗後の砲臺に上れば前には支那海の滄波を湛え後に沃野の千里に亘るあり又加走連峰の蜿蜒たるを見る壯快實に言ふべからず

鳳山を發して里許崎脚庄あり恒春に至るの道路は去る二十九年の冬我工兵隊の開設に係る一の紀念物なりとす

新道に従へば潮洲繫庄より下淡水溪を涉り蕃仔庄竹仔脚新埔庄石公徑新庄水底繫庄を経て枋寮に達すべし

急ぎの旅ならずば舊道をたどりて海岸の景致を賞するも一興なるべし

新道を分れて新庄の邊より下淡水の本流及び支流並に東溪を越えて東港に着す(六里)

▲東港 下淡水溪口にあり巨船を容るゝを得下淡水溪は遠く嘉義の東方卑南主山に發し南下

して諸溪水を集め漸く大となり阿猴街の西方を過て東港より海に入る河口幅百米突其れより廿五里を遡るの間は舟楫を通すべし

林邊崎仔頭塩仔新港下繫は其驛路なりとす是より臺東方面巴望衛に向はんとするものは未明に出立すべし四里八町にして周彫營に至り三里八町にして浸水營あり此より四里十六町にして巴望衛に達す(七里三十一町)

▲楓港 楓港の背後に峻嶺あり里龍山と云ふ高さ千二百二十四米突支脈延ひて車城に至る

車城は其西方海に瀕する處大艦巨船を繋ぐべし其内埔は車城より約半里往昔琉球人の蕃害に逢ひし處明治九年今の西郷侯討蠻の師を此地に帥せり往時を追想して琉球藩士二十七名之墓と題は其北々東二里弱の處にあり牡丹社に入るに唯一の要地たり

車城より地勢一變し三臺山拔海五百〇四米突大坪項庄の間只水田の蒼々たるあり此より恒春まで約三里

貓仔坑庄を過ぎて前面二十町許に城壁を見る
即ち恒春城なり鐵路六十二哩五十二鎖徒行新竹
より九十五里三十四町なり

人力車賃金額

- 一、平道一里に付一人乗拾錢以内二人乗拾五錢以内
但難道雨天夜間は二割増
- 二、市内は拾町未滿は五錢以内二人乗七錢五厘以内
五丁増毎に一人乗二錢以内二人乗參錢以内を増す
- 三、客待は一時間三錢以内とす
- 四、履切一日六拾錢以内半日四拾錢以内

臺北縣廳前を以て各地賃金額の起點とす

地名	里	程	一人乘	二人乘
基隆	七里	廿三丁	八十錢以内	壹圓貳拾錢以内
水返脚	五里		五拾錢以内	七拾錢以内
南港	三里	十八丁	參拾五錢以内	五拾貳錢五厘以内
上坡頭	一里	十八丁	拾五錢以内	貳拾貳錢五厘以内
錫口	二里		貳拾錢以内	參拾錢以内
北投庄	三里	十八丁	參拾五錢以内	五拾貳錢五厘以内
士林	二里		貳拾錢以内	參拾錢以内
大龍洞	一里		拾四錢以内	貳拾壹錢以内
景尾街	二里		貳拾錢以内	參拾錢以内

營業人力車工錢目錄

- 一、凡平坦道路一里搭坐一人之車者應分別給銀拾錢

以內搭坐二人之車者應分別給銀拾五錢以內

- 但險惡道路以及雨天夜間應再加十分二
- 二、城廂內外如來十丁之地搭坐一人之車者應分銀五錢以內搭坐二人之車者應分別給銀七錢五厘以內每再加五丁搭坐壹人之車者應再加銀二錢以內搭坐二人之車者應再加銀三錢以內
- 三、聽候客人者每點鐘間分別給銀三錢以內
- 四、色雇一天應分別給銀六十錢以內色雇半天應分別銀四拾錢以內

從臺北縣廳門前起到各地車錢

地名	里	數	搭坐一人之車	搭坐二人之車
基隆	七里	廿三丁	八拾錢以內	壹圓貳拾錢以內
水返脚	五里		五拾錢以內	七拾錢以內
南港	三里	十八丁	三拾五錢以內	五拾貳錢五厘以內
土坡頭	一里	十八丁	拾五錢以內	貳拾貳錢五厘以內
錫口	二里		貳拾錢以內	參拾錢以內
北投庄	三里	十八丁	三拾五錢以內	五拾貳錢五厘以內
士林	二里		貳拾錢以內	參拾錢以內
大龍洞	一里		拾四錢以內	貳拾壹錢以內
景尾街	二里		貳拾錢以內	參拾錢以內

明治卅二年八月五日印刷
同 年八月十日發行



編輯者 臺灣臺北西門外街二丁目一番戶
石川源一郎

寫真銅版製
版并印刷者 東京市京橋區日吉町十三番地
小川一真

印刷者 東京市京橋區築地三丁目十五番地
淺野鐵吉

印刷所 東京市京橋區築地三丁目拾五番地
帝國印刷株式會社

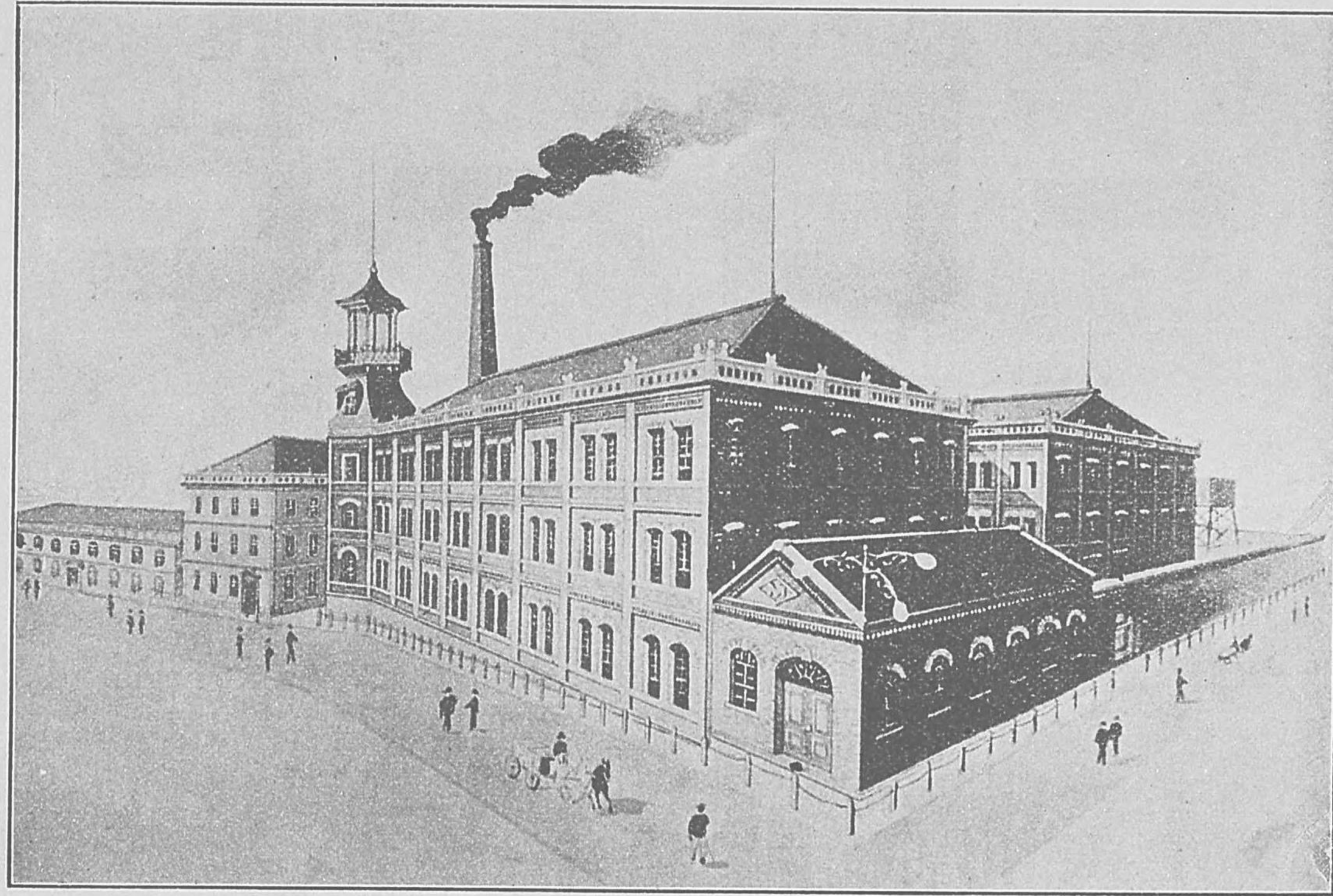
發行所 臺灣臺北西門外街二丁目一番戶
臺灣商報社

版權所有

大賣捌所

東京市京橋區尾張町新地十四番地 正信堂	東京市京橋區築地三丁目十五番地 淺野鐵吉	東京市京橋區日吉町十三番地 小川一真	臺灣臺北西門外街二丁目一番戶 臺灣商報社	臺北北門街三丁目 博文堂	全 西門街二丁目 支店	全 府前街二丁目 支店	全 城府前街 支店	全 新石府前街 支店	全 府前街三丁目 支店	全 旅館朝陽 支店	全 廣告屋三盛 支店	全 基隆石牌 支店	全 旅館日新 支店	全 同濟業 支店	全 草店 支店	全 增田寫真 支店	全 有馬寫真 支店	東京市京橋區館屋町十三番地 隆館	東京市京橋區館屋町十三番地 隆會社	東京市京橋區築地三丁目十五番地 淺野鐵吉	東京市京橋區日吉町十三番地 小川一真	臺灣臺北西門外街二丁目一番戶 臺灣商報社
------------------------	-------------------------	-----------------------	-------------------------	-----------------	----------------	----------------	--------------	---------------	----------------	--------------	---------------	--------------	--------------	-------------	------------	--------------	--------------	---------------------	----------------------	-------------------------	-----------------------	-------------------------

店 本 一 口 一 口



會 商 弟 兄 井 村 都 京
Murai Bros. & Co. Kyoto, Nippon.

諸新聞取次廣告

正信堂は新聞賣捌店なり弊堂創業以來日一日より繁榮の域に赴き今や滿都幾多の新聞紙は大概みな一たび弊堂の手を経て一般に配布せらるゝに到れりこれ眞に江湖愛讀諸君の厚眷に依るご雖も抑も弊堂が斯業に熱心勉勵せし功も亦聊か誇るに足るものなごせせず新聞紙は開明社會の交通機關として一日も缺くべからざるもの特に交通漸く開けんとする邊土即ち現下の臺灣の如きは最も其必要を感じるものあるご信ず弊堂大に茲に見るあり在臺諸君の爲めに便利を圖り新聞取次の注文に應じ特別大勉強を以て三ヶ月以上前金の購讀者諸君へは何新聞に限らず**郵税半額**(半額は弊堂に於て負擔す)を以て取次郵送せんごす天南萬里の羈窓に索居して中央政府の新らしき出來事を知り社會の進化に伴はんことを望まるゝの士は續々申込まるべし

東京京橋區尾張町新地十四番地

正信堂 八木定太郎

露光量違いの為重複撮影

ノ文歐ニ并標商ニ手引ハニ靴造製店弊
リア文歐ノ銀ハ或金ニ革敷テリア出織

墨靴印旭逸獨
賣販手一本日

二券郵表價定書用法寸
ス呈進バラア付送御錢

形新近最

東京市芝區櫻田伏見町
内田靴靴店
電話新橋一五五二番

臺灣臺北府前街三丁目
東京日進堂

ソニアニ所ル到國全ハ店賣販品造製店弊

草 煙 卷 紙 等 上

造 製 會 商 弟 兄 井 村

京都本店
東京支店
大坂支店
京都支店
上海分行
神戶支店
東京出張店
函館出張店
博多出張店
名古屋出張店
朝鮮出張店
大阪分工場
名古屋分工場
京都分工場

臺灣基隆船頭街百廿番戶
社會名合

所 張 出 灣 臺 會 商 弟 兄 井 村

露光量違いの為重複撮影

ノ文歐ニ并標商ニ手引ハニ靴造製店弊
リア文歐ノ銀ハ或金ニ革敷テリア出織

二券郵表價定書用法寸
ス呈進バラア付送御錢

墨靴印旭逸獨
賣販手一本日

形新近最

東京市芝區櫻田伏見町
内田靴靴店
電話新橋一五五二番

臺灣臺北府前街三丁目
東京日進堂

リアニ所ル到國全ハ店賣販品造製店弊




草 煙 卷 紙 等 上

一 口 一 七

社 會 名 合
造 製 會 商 弟 兄 井 村

京都本店
東京支店
大坂支店
京都支店
上海分行
神戶支店
東京出張店
函館出張店
博多出張店
名古屋出張店
朝鮮出張店
大阪分工場
名古屋分工場
京都分工場

臺灣基隆船頭街百廿番戶
社 會 名 合
所 張 出 灣 臺 會 商 弟 兄 井 村

臺灣牛乳搾取業の首祖

牛乳散

臺北南門邊街四番戶

終牧場

神藥本舖
藥種問屋

東京室町三丁目三番地
本舖資生堂謹製



定價 (金拾錢) (金拾五錢) (金三拾錢)
此神藥は故醫學大博士從五位佐藤尙中先生の方劑にして功能顯著なる普く世に知らるゝ處なり常に一壺を貯ひ健全救護の要藥になし給はらんとを茲に其功能概畧を記せば
●胸痛腹痛 ●食中り水中り ●霍亂下痢虎列刺 ●痘瘡及癩疹 ●四季時候下り ●大人小兒共引風及たんせきによし ●頭痛及齒のいたみ ●氣絶したる時氣付には別て功あり

●胃弱症特功劑

正四位勳二等松本順先生御方劑

健胃散

定價
金拾錢
金貳拾錢

●胃弱症の特効藥にして ●溜飲 ●疝氣 ●食滯 ●胸腹すじばり痛み ●婦人寸白にして腰引つり痛むに
よし ●常に用ゆれば氣力を増し身體健全なるべし
臺灣臺北城内府前街一丁目六番戶
藥種賣藥問屋 資生堂支店
醫療器械問屋

神藥本舖 本店 東京室町三丁目三番地 資生堂
藥種問屋

- 洋藥種
- 特效賣藥
- 醫療器械
- 化學用器械藥種
- 獸醫器械藥種
- 調劑用諸器械
- 消毒用石灰其他
- 工業用藥種
- 齒科用品
- 寫真原料品
- 菓子製造用品
- 化粧品

● 卸 小 賣 ●

右之外諸品相場確實品質精良ハ勿論且迅速ニ諸般ノ取扱
注意親切ヲ旨トスルハ弊店ノ特色トスル處ナリ四方ノ諸
彦無御懸念陸續御愛顧御購求アラシク奉希上候

臺灣總督府 陸軍諸官衙 御用達
臺北北門街二丁目九番、七十一番戶
高進商會 高橋由義
藥種賣藥 問屋 資生堂支店
醫療器械

臺灣總督府 陸軍諸官衙 御用達

臺北北門街二丁目九番、七十一番戶

高進商會 高橋由義

一土木建築受負

一硝子板 各種

一東京製金庫火災保險附小各種
一玉泉堂製筆墨硯 各種

但シ 文字符合變換自在特製錠鐵製中原付
寸法價額表御申越次第進呈可仕候

右之外總テ勉強確實ヲ旨

トシ迅速調達可仕候間御

用被仰付度奉希候

一銅、真鍮、鐵、亞鉛、曳鐵
 板、亞鉛板、鐵葉板、
 細工物一式
 一亞鉛、曳鐵板屋根張
 並ニ樋類一式
 一新形瓦斯燈、角燈、
 手提燈各種
 一諸器械製造、並ニ修繕
 一金庫修理
 右之外如何ナル御注文ニテ
 モ可應貴需候

臺北北門街二丁目七十一番戶

高進商會器械部



高山國は臺灣唯一の政治雜誌にし
 て議論侃諤筆鋒銳利帝國南門の木
 鐸を以て自ら任ず其主義と本領と
 は請ふ一讀の上之を知れ

臺北新起街

發行所 高山國社

臺灣めざまし

明治卅二年第四月創刊
 (毎月壹回十五日發行壹部前金五錢)

「社論」直言直筆時事問題を是「人物月旦」朝野

物を捉へ來りて評騭縦横「寄書」名士大家の高論「斷

殺活自在毫も憚るなし「雲流水」詩歌俳句及び文學「諷林」奇警嶄新なる

事現象を諷刺「訪問談」内外紳士の奇談「斬姦

忘む處なし「狀」姦人惡漢を筆誅すると痛「雜錄」奇事逸聞「彙

報」時事政治家又は花柳界の消息「落葉」社會上諸般の

「風聞錄」朝野名流の奇事逸聞又は裏面黒闇々の事柄

「X光線」奸商汚吏毒婦惡夫の秘密を暴露し以て一世

寸鐵人を殺す

發行所 臺灣基隆港玉田街貳百廿六番戶
 臺灣めざまし社



日本郵船株式會社廣告

基隆間定期船橫濱丸 船長宮城岩次郎

一基隆出帆定日は毎月廿五日 午後五時

一神戸出帆定日は毎月十八日 正午三時

但往復共門司へ寄港す

一基隆門司間 は約二晝夜半にて航行す

一船客運賃額ハ

基隆間 一等三十圓、二等二十圓、三等十二圓、
 門司間 一等廿六圓、二等十七圓、三等十圓、

日本郵船株式會社
 基隆出張所

臺灣商報

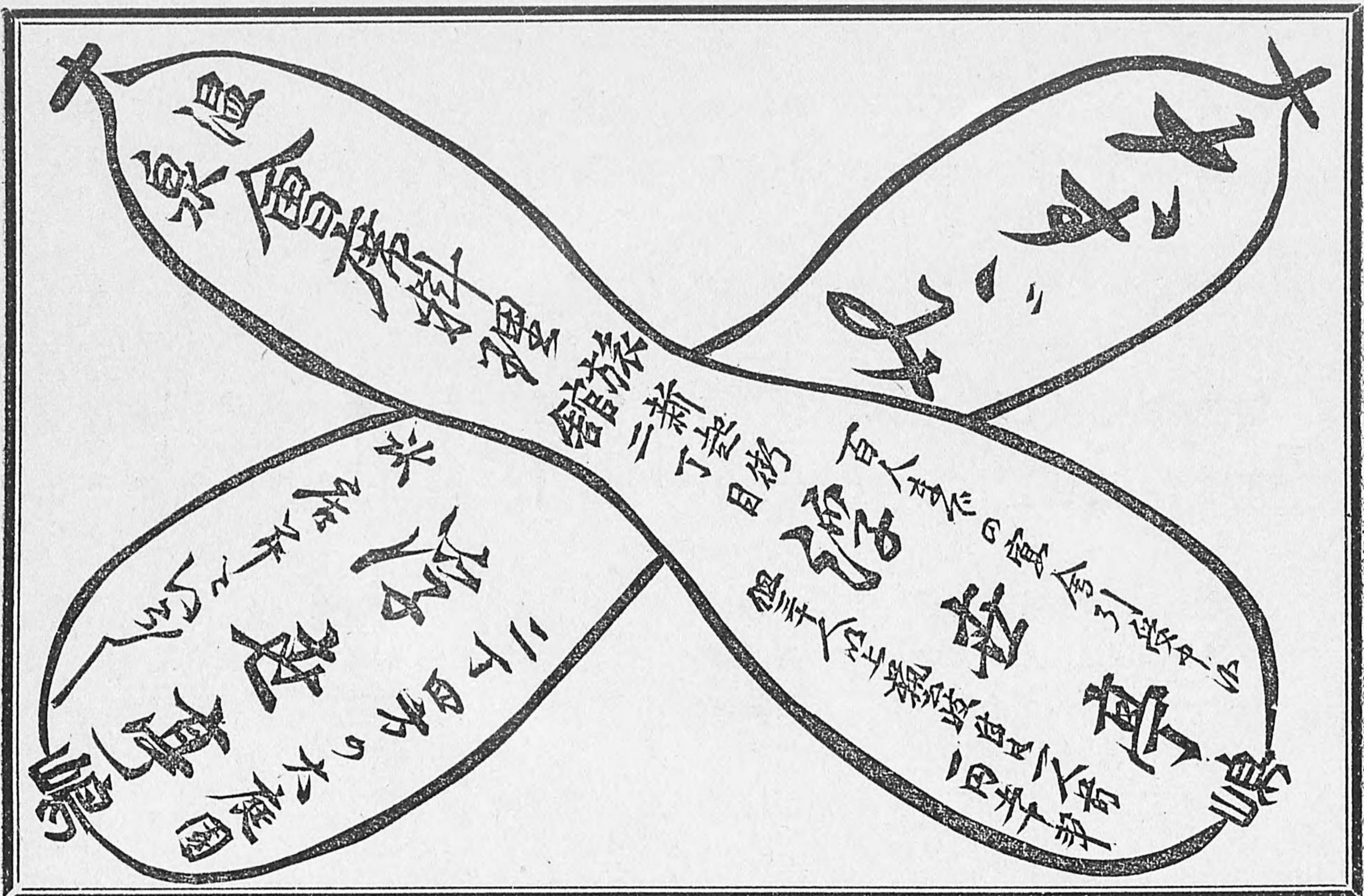
定價一部金五錢 廣告料

特別廣告一行三十錢
普通廣告一行十五錢

本商報は臺灣商工業の木鐸たらん事を期す、故に記事敢て苟もせず、敏捷精確斯業の報道を勉め、時に或は侃諤の議論を闘はして本島商工業の擁護者となり、時に或は短刀直入羊頭狗肉的の沒德漢を筆誅することあらん、又た趣味豊富なる滑稽諧謔的記事を連載して粹士通人の好侶伴たらんことを期す

臺北西門外街二丁目二番戶

假發行所 臺灣商報社



本 店	大阪市高麗橋通	奈良支店	奈良市東城戸町
南 支店	大阪市南久寶寺町	臺北支店	臺北々門街二丁目
天滿支店	大阪市樋上町	基隆支店	基隆石牌街
德島支店	德島市西新町	臺南支店	臺南大西門外宮後街

合併後資本金 四百七拾萬圓

株式二十四銀行

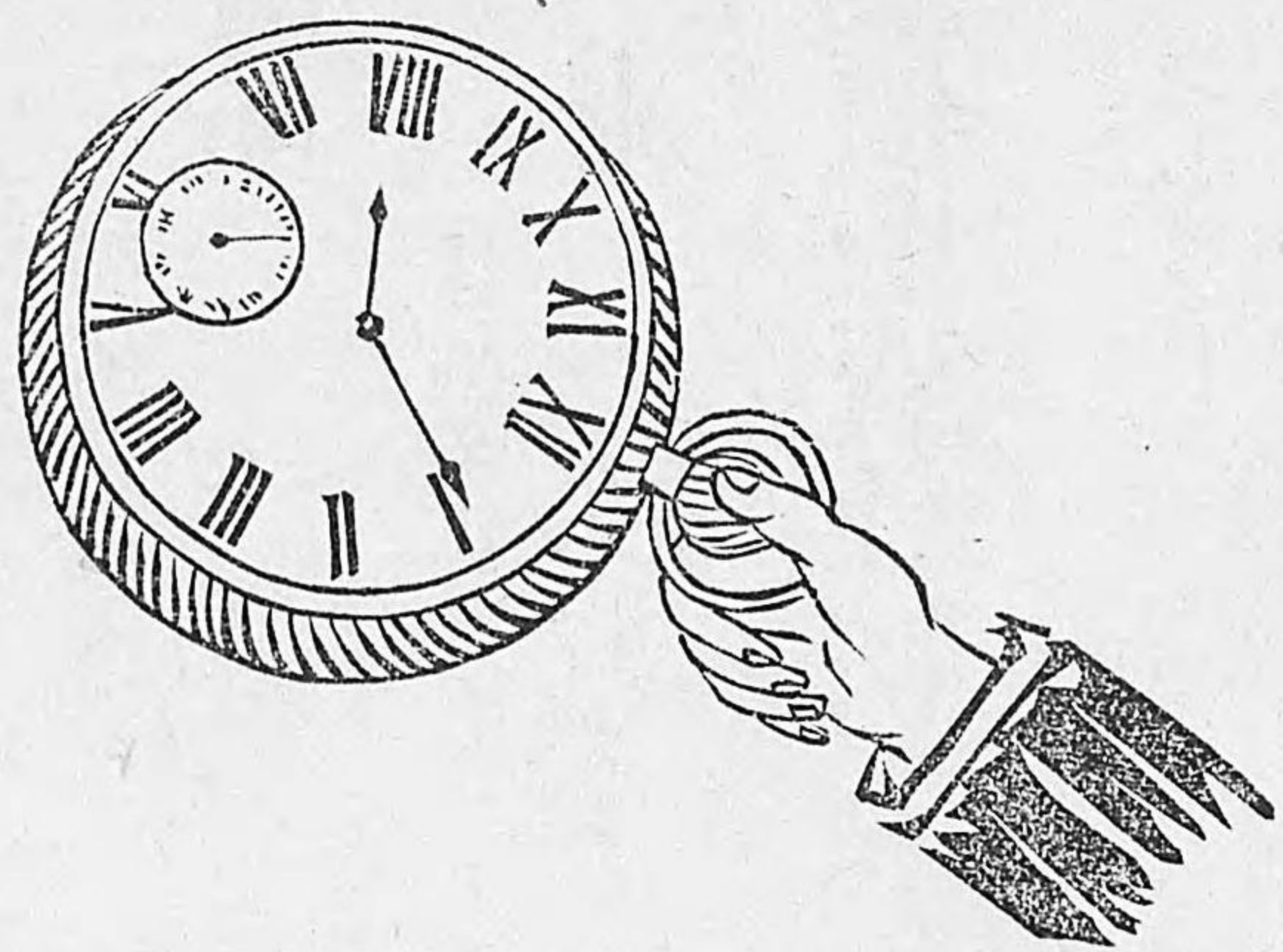
會社

本行ハ今回株式會社日	頭 取 小山健三	取締役 坂上安一
本中立銀行及株式會社	取締役 竹尾治右衛門	監查役 豐田善右衛門
日本共同銀行ノ合併ヲ	取締役 竹田忠作	監查役 野田吉兵衛
決議シ益業務ヲ擴張シ	取締役 山口善五郎	監查役 泉清助
專ラ顧客ノ便益ヲ圖ル	取締役 阪上新治郎	監 督 岡橋治助

時計及貴金屬

品 目

- 金銀コロノメター時計及時間打懷中時計
- 金銀瑞西米利堅懷中時計及掛置時計
- 寶石入指環及ビン、ボタン金縁眼鏡及雙眼鏡
- 金銀磁石及珍品下鎊
- 金銀鎖及金鉛筆
- 一週間卷懷中時計及クロノグラフ付懷中時計



弊店ハ確實廉價ニ販賣スルハ諸君ノ熟知セラル、處ナラン
 弊店ハ販賣時計ニ對シ全國同盟保險證ノ附シアルハ諸君ノ
 熟知セラル、處ナラン
 弊店ハ購求後一週間以内割引ナシ一ケ年以内ハ一割引ニテ
 交換シツ、アルハ諸君ノ熟知セラル、處ナラン
 弊店ハ御注文次第直ニ保險證ヲ附シ引換ニテ送品シツ、ア
 ルハ諸君ノ熟知セラル、處ナラン
 右ノ如ク御便利ヲ計リ正當確實ニ販賣仕候ニ付何卒多少ニ
 不限御用向奉希候也

御用時計師 東京支店 金田時計舖

臺北西門街一丁目卅五番戶

新 荷 着 具 表 疊 具 建

戸障子 襖下地 指物類 内地表 臺灣表 疊糸類 唐紙襖 屏風及 下地類

荷 馬 車 荷 車

今般價格改正し直廉價を以て御愛顧に酬

組場 城工 金疊

臺北新起街壹丁目 同町

記

本場一品選 大小罐入 數種

一 淺草乾海苔 御徳用 大小樽 瓶詰

一 最上醬油 御進物袋入 色々

一 鯉節上等品 陸軍御用 甘鹽辛鹽 大小樽御好 次第

一 東京澤庵

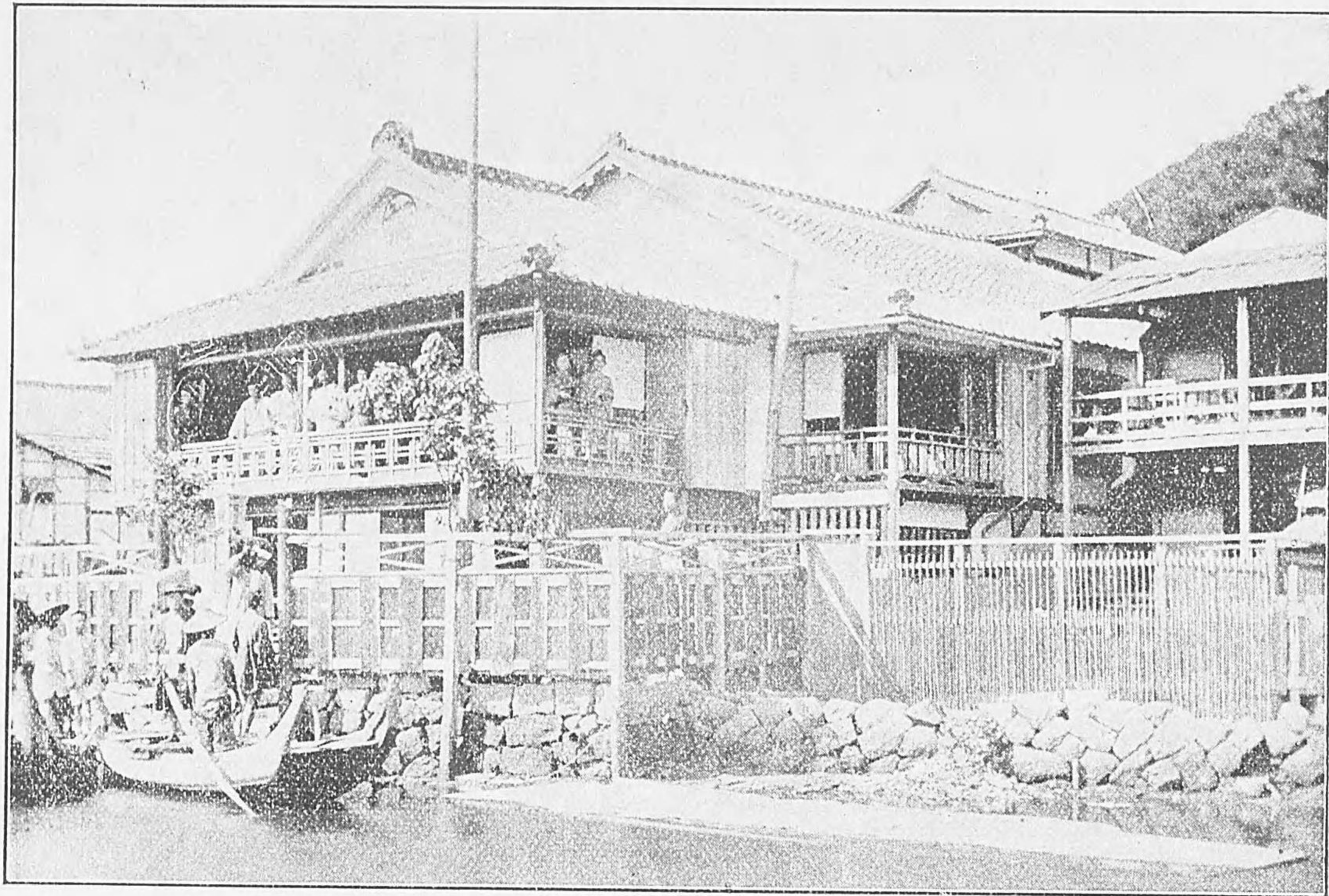
臺北城内

東京そば元祖 八州庵

右之通り廉價販賣仕候

露光量違いの為重複撮影

(景光の面裏) 館旅等一隆基



福岡館

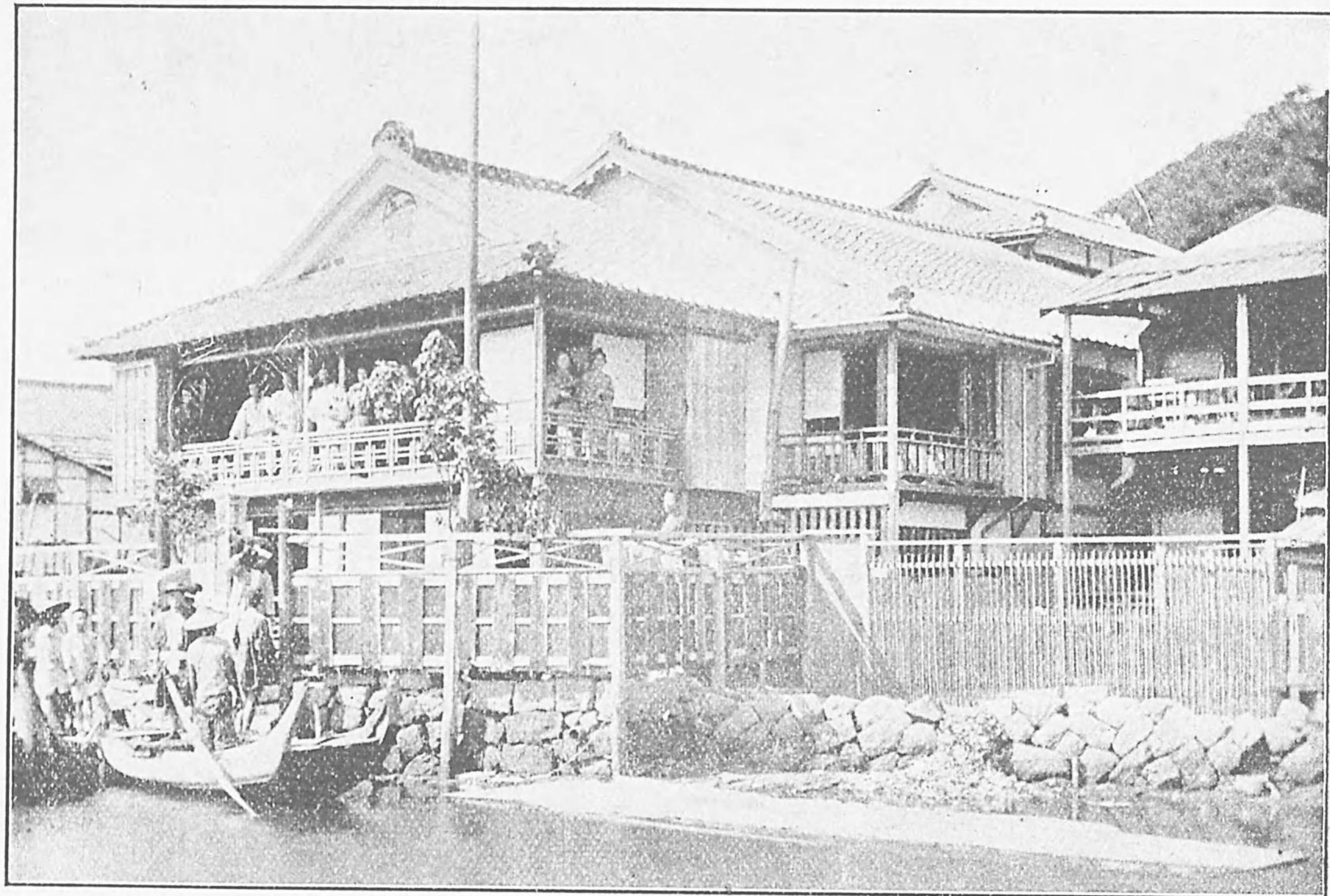
特別廣告

● 下 駄 雪 駄 ●	物	反	服	吳	● 各 種 金 巾 裏 地 ●
	其他種々 糸類 足袋類 脚半 メリヤス 和洋手拭 目倉紺 瓦斯縞 名仙類 各種金巾裏地	縮緬帶 木綿縞 晒木綿 蚊帳 靴下類 シヤツ類 晒金巾類 綿類	其他種々 糸類 足袋類 脚半 メリヤス 和洋手拭 目倉紺 瓦斯縞 名仙類	縮緬帶 木綿縞 晒木綿 蚊帳 靴下類 シヤツ類 晒金巾類 綿類	
	商	賣	卸		

他方御注文は小包便を以て御送附可仕候
 臺北西門街貳丁目
 正 藤田商會

露光量違いの為重複撮影

(景光の面裏) 館 旅 等 一 隆 基



館 岡 福

持別廣告

●	物	反	服	吳	●			
●	下	其他種々	系足脚	和洋手拭	目倉紺	瓦斯縞	名仙類	各種金巾裏地
●	駄	類	袋半	メリヤス	蚊帳	木綿縞	縮緬帶	
●	雪	綿類	晒金巾類	靴下類	シヤツ類			
●	駄							
●	商	商	賣	卸	商	賣	卸	●

他方御注文は小包便を以て御送附可仕候

臺北西門街貳丁目
正
 藤田商會

●臺灣日日新報
●臺灣商報

廣告一手取次

●臺灣日日新報
●臺灣之產業
●臺灣商報
●高山國

大賣捌所

●印紙類賣捌所
●諸官衙御用達

臺北西門街一丁目一番戶

三盛商會

回漕業

鐵道貨物取扱

汽シヤンク船 荷客取扱

日本郵船會社 仲次
大阪商船會社

基隆石牌街五十九番戶

⊕ 石川組水陸運送本店

小基隆三叉灣十四番戶

⊕ 石川組水陸運送支店

臺北北門外街二丁目五十番戶

⊕ 石川組水陸運送支店

御旅館

臺灣基隆新街

大平館

寫真

臺北門街一丁目

寫真師

有田春香



臺灣天狗煙草販賣店

天狗煙草は純良の日本産を以て製し其
上價も廉なれば衛生と經濟とに大なる御徳
用であります

彼の藥品を配合して香ひを附け有毒なる微菌を生じ
頭腦を痛むとか肺患を誘發するとかその上價も高き
外國輸入の品を以て製したるもの、如き國家の爲め
にも馬
鹿に不
經濟な
品とは
丸きり
話しが
違ひま
す疲れ
たる情
神を回
復し爽
快なら
しむる
上經濟

にもよき純良の天狗煙草は東洋は隅から隅迄賣店が
あります上に歐米にも手を廣げつゝあれば此純良の
煙草をボカ／＼フカシテ智恵袋を大きくし勇壯活潑
に勉強して世界の金をもうけなさい家運長久家内安
全アナカシコ

清



釀造元

堺市

大塚和三郎

酒



橫濱

明治屋

キリンビール

織布元

大阪

大塚商會

東洋布疋

臺北建昌街

大塚商會臺北支店

臺中大墩街

大塚商會臺中出張所

臺灣發賣元

緊急廣告

●文官御制服

右迅速廉價ヲ以テ調進可仕候

●右附屬品一式 特別割引

並右佩劍拭用●打粉●丁子油●光澤布各壹個定價金二十錢

●優等裁縫 洋服種々

●優美裁縫 文官服種々

右出來合服御地方ヨリ御注文ノ御方際ハ平生御着用相成候洋服上衣丈ケ御送被下度其寸法ニ合シ品質吟味廉價且迅速ニ代金引換小包ヲ以テ郵送可仕候若御落掌御吟味ノ上其價值品質等ニ於テ御意ニ相協ハス候得ハ御還附ノ義更ニ厭ヒ不申候其小包料ハ弊店ニ於テ負擔可仕候

●辨務署 鼠色討伐外套

御用品一枚金二圓三十五錢五枚以上五分引可仕候地方ヨリ御注文ノ節一枚ナレハ小包料二十錢相掛申候得共多數御注文被下候得者小包料モ安價ニ相成申候

臺北々門街二丁目

藤本洋服店

土木建築 請負業

臺北新起街一丁目

鐵田組

店主 鐵田米吉

本組は軍政時代より
渡臺し専ら該營業
に従事す



會席御料理

高砂や、此うら舟に帆をわけて、
めで度榮へ玉ふなる、各々様のめぐみの
深みどり、色もかはらぬ御愛顧は、開業日
尙淺きにかゝはらず千歳ふるてふ松がえに、
咲と聞さへ、どかへりの花も實もある御引
立、七重の膝も八重にして、今日九重に御
禮申上るになん、あはれ去年の洪水に流失
したる裏座敷もいよく落成仕候得者、不
相變御賑々敷、御光來ありて吹けや川風、
すなれを巻て八芝蘭の山のいともく清き
眺を御肴に、幾久しくも淡水の、ながれ盡
せぬ御愛顧を、伏而奉願上候以上。

建昌街二丁目

清涼館

月日



廣告

海產物問屋 并ニ貿易
 鹽魚 干魚 鯉節
 乾物問屋 并ニ貿易
 尙地方ヨリ御注文ノ御方
 ハ小包郵便ヲ以テ早速御
 送附可仕候間倍舊ノ御注
 文ヲ乞フ

可 小笹商店
 大阪市靱南通リ五丁目
 電話西四百〇八番

可 小笹支店
 臺灣基隆石牌街

可 小笹支店
 同臺北西門街二丁目

●廣告見る人眞からかあい●

- (略大傘洋)
- 佛國細卷輕便旅行傘
 - 船來細卷紳士洋傘
 - 改良綾張士洋傘
 - 貴婦人深張紳士洋傘
 - 琥珀紋深張紳士洋傘
 - 絹袖張男女各人傘
 - 專賣特許洋傘數種
 - 其他流行洋傘數種
 - 琥珀張紳士洋傘
 - 自店製綾紳士洋傘
 - 保險染縹紳士洋傘
 - 紋織縹紳士洋傘
 - 佛國紋縹紳士洋傘
 - 晴雨兼用深張紳士洋傘
 - 刀劍仕込杖類
 - ステッキ類

●男子婦人持流行新形各種洋傘卸賣●



●臺北府前街壹丁目角 日進商會洋傘店●

●弊店ニ於テ御購求ノ洋傘ハ御使用中滿三ケ年ヲ過ギズン
 テ破損ヲ生ジ候節ハ無代價ヲ以テ何回ニテモ親切ニ御修
 理可仕候
 ●卸賣多數ノ御注文ハ特別ノ割引ヲ以テ販賣仕候間陸續御
 來車御用向御注文ヲ願上候
 ●地方御注文ハ御申越次第品質ヲ撰ミ代金引換小包便ヲ以
 テ御送附可申上候
 ●買いに來る客尙ほかあい●

呉服本物

浴衣地

蚊帳類

右ハ卸小賣共一層廉價ニ販賣仕候代金引替小包ノ御注文ハ直々ニ送附仕候

大阪南久太郎町貳丁目

● 司藤田本店

基隆草店尾街

● 司藤田商店

臺北北門街貳丁目

● 司藤田商店

基隆哨船頭街

● 司藤田支店

積善堂藥房

內外藥種 化學藥品 工業藥品 有名賣藥 醫療器械 調劑器具 繡帶器材 藥葡萄料 繪具染料 餡製煉乳

弊堂ハ明治二十八年開設當時ヨリ臺灣總督府陸軍衛戍病院諸官衛公私病院ノ御用ヲ始メトシ四方諸彦ノ御愛顧ヲ蒙リ茲ニ五年ノ星霜ヲ經テ益々隆盛ノ域ニ進ミ候ハ誠ニ弊堂ノ光榮感謝ノ至リニ堪ヘズ候爾今益々勉強シ品質ノ正確ハ勿論誠實廉價ヲ旨トシ諸般ノ取扱ニ注意シ御用ニ應シ候ニ付何卒不拘多少不相變御用向被仰付度謹テ廣告仕候

臺北北門街一丁目五十番戶

積善堂主 金子常吉敬白

臺灣總督 男爵兒玉閣下 題字
 桃居士 石塚參事官長閣下 序
 大漢閣主 曾根海軍大尉殿 序
 荆漢閣主 木下新三郎君 序
 蘭所生 上田炳麟君 題
 圖南狂夫 石坂元胤君 編
 石坂莊作君 編

一部正價 金五拾錢
 郵送費 金八錢

臺島踏查實記 前編

總紙數二百三十八頁製本美麗印刷鮮明

端かき○臺灣の古今○地勢地理○氣候○官廳
 及其所在地○兵事○前山旅の柴折○臺東踏查
 誌○蕃界の真相○未開の郊原○牧畜○農業○
 交通○附録には船旅案内附船中西洋食卓心
 得等、其他全島地圖風景人物畫數十箇を挿
 入す

次 目

- ◎出版所 臺北城内西門街 臺灣日日新報社
 三丁目十三番戶
- ◎發賣元 臺北新起街二丁 臺灣共伸社
 目廿九番戶
- ◎賣捌所 臺北城内府前街 城谷書店
- ◎同 臺北城内北門街 博文堂
- ◎同 基隆石牌街 日新館
- ◎同 基隆草店尾街 小西日進堂

紀念明治廿八年十二月開業

實力競爭 三都流物 西陣織物 吳服染絹 古物小賣

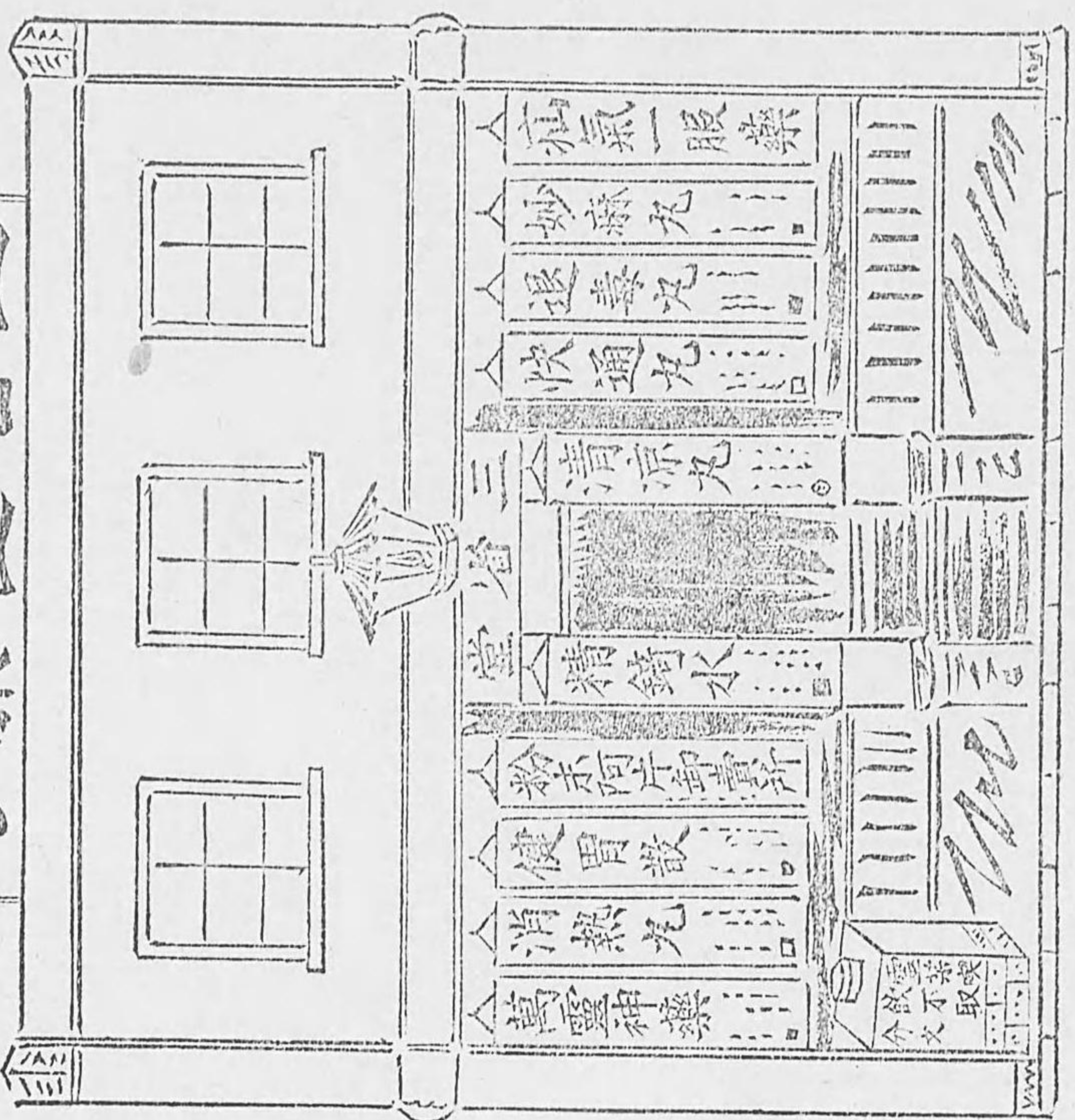
臺北府前街大寺組吳服塵

每月末ハ 弊店ノ祝日ニシテ特ニ勉強
 正札ヨリ五歩直引販賣仕候

毎月初日ハ 店員慰勞ノ爲休業仕候

御便利ト美麗ナル

吳服切手發賣仕候



三省堂藥房

本堂ハ臺北城內北門
 街一丁目十番戸ニ在
 リ本島藥商ノ嚆矢ニ
 シテ藥種及帝國高名
 買藥並粉未阿片特許
 卸賣ヲナス遠隔地方
 ヨリ御注文ノ節ハ親
 切ト迅速ヲ旨トシ發
 送ス爲換日本中立銀
 行臺北支店或ハ臺北
 郵便電信局へ拂込ミ
 堂主柳田壯へ宛御送
 金ヲ希フ

新刊發賣廣告

臺灣總督府民政長官後藤閣下題字
 臺灣總督府國語學校教授本田嘉種君序文
 臺北商工幹事長大庭永成君序文
 臺北縣參事李乘鈞君序文
 總督府國語學校教授論平井又八君校閱

杉房之助君著

日臺會話新篇

定價金五錢 郵税金六錢

語學ノ發達幼稚ノ時ニアリテハ其用書ノ適不適用フニ
 暇アラサルヘシト雖現時ノ狀勢ヨリ之ヲ觀ルハ必ヤ適
 應ノ書ナカルヘカト雖現時ノ狀勢ヨリ之ヲ觀ルハ必ヤ適
 即チ効登ニ語學ノ間コレヨリ益々成ル其意ヲ加ヘンコト
 書ノ効登ニ語學ノ間コレヨリ益々成ル其意ヲ加ヘンコト
 ミニ止マランヤ本島經營ノ上ニ於テ小補アル
 ハ本田先生ノ序文ナリ蓋シ本書ハ從來發刊セラル
 如キ所請廈門語ノ復譯ニアラスシテ純然土語ノ常言ヲ採
 擇シ附總督府學務部最近所定ノ
 入聲符號ヲ以テシ振假名モ一ニ學務部所定ノ
 正則的ニ發音法ヲ會得セシメ且獨習ノ材
 料ニ至テハ頗ル著者苦心ノ存スル所ニシテ如何ヲ知ラシ
 排置ノ順序ハ學問ノ本國風教ヲ如何ヲ知ラシ
 不知不識土人ヲシテ本班ヲ觀ハシメ本國風教ヲ如何ヲ知
 臺灣習俗ヲシテ本班ヲ觀ハシメ本國風教ヲ如何ヲ知
 シテ幾許ノ價值アルヤ否ヲ高評シ玉ハンコトヲ

發行兼發賣元

書林

博文堂

堂

臺北北門街三丁目

博文堂支店

臺北西門街二丁目

臺北第一等
御旅館

臺北城內北門街二丁目廿二番戶

北城

●光澤寫真大勉強風景寫真種々大安賣●

寫真

基隆田蒙港(郵便局裏)

有馬寫真館

寫真師 有馬磯吉



蕉實煎餅 其風味の高向なるのみならず又滋養に適し茶菓として貴人にもてはやされ前進物として軽便に去てしかも雅趣あり原料は本島の特産芭蕉の實を以て製し數年蓄ふるも變味することなく彩色體裁は主人が意匠をこらせし美麗なる鑑詰にて内地への土産にこそなき品なり先づ試みに味をひ給ひて御高評を祈りまつる

臺北西門街一丁目 廣
末 廣 支店

基隆草店尾街 廣 支店
特約一手販賣店
臺中小北門街知事官舎門街
野上常吉

● 廣 告 ●

- 和洋紙類一切
- 和洋帳簿類一切卸小賣
- 活版印刷業
- 筆墨印肉文房器具類
- 金庫カシキ椅子數種
- 出張所ハ右ノ外萬雜貨

臺北北門街

日本物産合資會社

苗栗南街

同 出張所

臺中大墩街

同 出張所

新竹南門街同代理店

村井惠之助

右大勉強御調達可仕候間御愛顧ノ程奉願上候也

ガラス物商

並
二
雜
貨

基隆石牌街四拾四番戸

西山商店

大阪高等鐵城館廣告

●本館は大阪梅田停車場前元歌舞伎座並び交番所横通東へ入る處に新築したる大旅館に御座候
●本館は日本全國第一流の上等旅館にして貴顯紳士の御旅館として最も適當なる高等大旅館に御座候
●本館は大阪ホテルに次ぎ舊來の高等旅館より層一層上流なる高等大旅館に御座候
●本館は大阪大演習の御座候宮殿下を始め奉り諸將校方様の御宿を仰せ付けられたるは本館の光榮とする處にして本館が貴紳の御旅寓に適當なるのいたす處と竊かに感佩仕候而已ならず建築當を得構造宜しきにかんひ、諸事整へ居候
●本館の建築は技師多年の刻苦經營に成りたるものにして衛生は勿論其特色とする處は甲客の乙客に接する事なく、丙客の丁客に見ゆる事なき様且御從者の室の配置にいたる迄注意は技師多年の刻苦經營に成り已に妙に達せり而已ならず主人の苦心注意により諸事萬端設備いたし居る恐らく日本第一流の新旅館に御座候
●本館は可憐親切に御取扱ひ申上候臺灣より御歸省せられ玉ふ高官紳士様方御宿泊被遊度候
●大阪梅田ステーション前
●元大阪歌舞伎座並び交番所
●横通東へ入る

鐵城館

露光量違いの為重複撮影

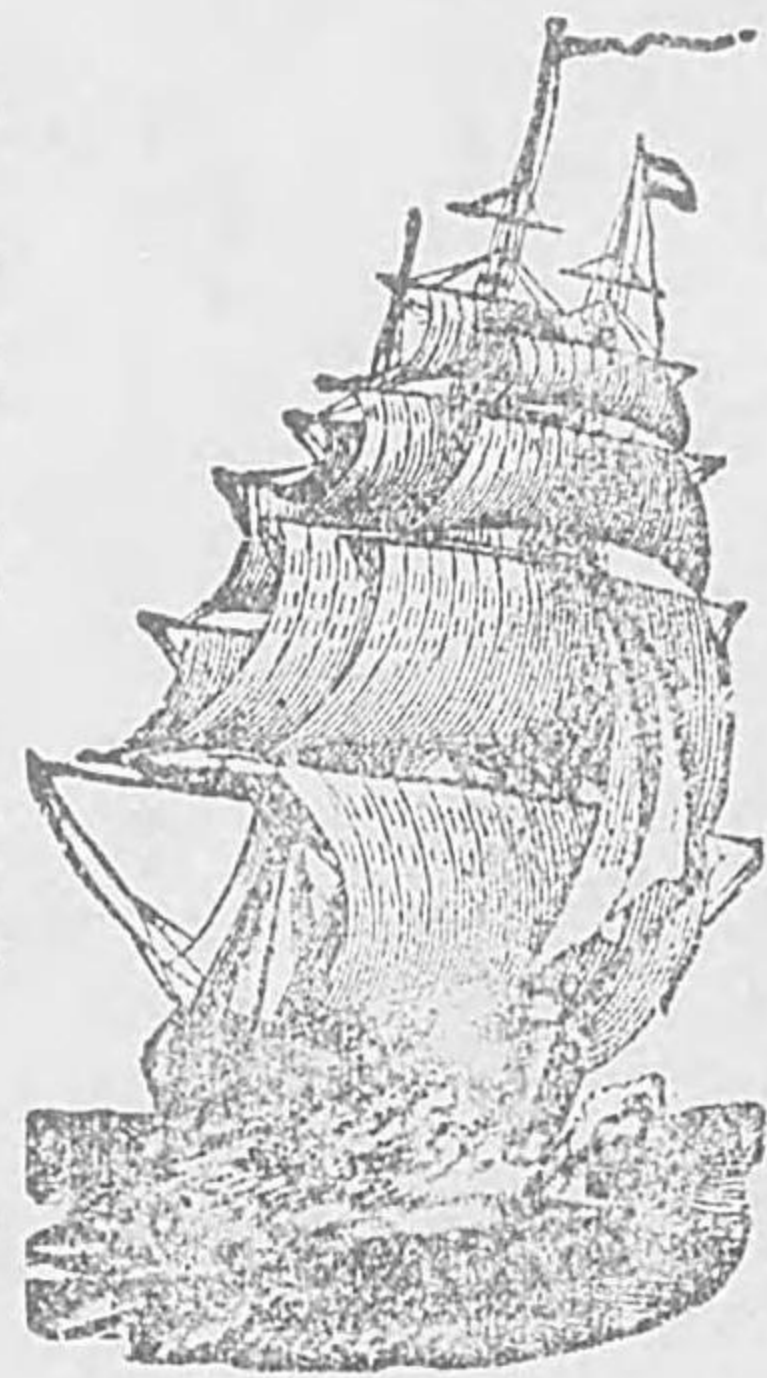
廣 告

- 白 鹿 瓶 詰
- 白 鹿 特別大樽
- 七 寶 正 宗
- 辰 正 宗
- 惠比壽ビール
- 黑惠比壽ビール
- 京 印 醬 油 大小樽 瓶詰并
- 龜甲萬印醬油 并瓶詰
- 東女郎味淋 并瓶詰
- 酒悅製福神漬 大小罐詰

臺灣 臺北

辰馬商會

新渡臺及
び在臺の
皆々様へ
稟告



○守田支店は臺北城内の最も繁盛を極むる中心とも稱すべき府前街壹丁目西側にありて四方顧客の至極御便利を感ぜらるゝ位置にあり

○守田支店は去明治二十九年六月の創設にして爾來臺灣總督府陸軍衛戍病院公私立各病院公醫方等の御用を相勤め左の業務に従事罷在候

諸大醫處方調劑、内外醫藥品、化學藥品及器械、工業用藥品、醫療器械、顯微鏡的器械、調劑用器械、消毒綑帶材料、粉末阿片卸賣、有名各家賣藥、優美化粧品、薰香線香類、純良葡萄酒、衛生飲料食料品等卸小賣

○守田支店の賣藥類は本店守田治兵衛製寶丹を始め守田家製賣藥化粧品は勿論各地に發賣せる凡そ効力の確實なるは何種を問はず博く相集め販賣罷在候

○守田支店は誠實誠意業務を執る而已ならず販賣の價格は低廉を主として營業罷在候然るに内地にては往々賣藥類をも定價以外に賣るかの如き浮説妄談有之候由決して然る事無之候 問 御安心被遊度候

臺灣臺北府前街壹丁目三十五番戶

起死寶丹代理店 東京守田支店
支店主任 藥劑師 佐藤虎雄啓白

露光量違いの為重複撮影

廣告

- 白鹿 瓶詰
- 白鹿 特別大樽
- 七寶正宗
- 辰正宗
- 惠比壽ビール
- 黑惠比壽ビール
- 京印醬油 大瓶詰 小瓶
- 龜甲萬印醬油 并瓶詰
- 東女郎味淋 并瓶詰
- 酒悅製福神漬 大小罐詰

臺灣臺北

辰馬商會

新渡臺及
び在臺の
皆々様へ
稟告



○ 守田支店は臺北城内の最も繁盛を極むる中心とも稱すべし府前街壹丁目西側にありて四方顧客の至極御便利を感ぜらるゝ位置にあり

○ 守田支店は去明治二十九年六月の創設にして爾來臺灣總督府陸軍衛戍病院公私立各病院公醫方等の御用を相勤め左の業務に従事能は在候

諸大醫處方調劑、内外醫藥品、化學藥品及器械、工業用藥品、醫療器械、顯微鏡的器械、調劑用器械、消毒綑帶材料、粉末阿片卸賣、有名各家賣藥、優美化粧品、薰香線香類、純良葡萄酒、衛生飲料食料品等卸小賣

○ 守田支店の賣藥類は本店守田治兵衛製實丹を始め守田家製賣藥化粧品は勿論各地に發賣せる凡そ効力の確實なるは何種を問はず博く相集め販賣能は在候

○ 守田支店は誠實誠意業務を執る而已ならず販賣の價格は低廉を主として營業罷在候然るに内地にては往々賣藥類をも定價以外に賣るかの如き浮説妄談有之候由決して然る事無之候間 御安心被遊度候

臺灣臺北府前街壹丁目三十五番戶

起死回生 寶丹代理店 東京守田支店

支店主任 藥劑師 佐藤虎雄 啓白

店南中田

商貨雜洋和

特別廣告



店商中田

臺北府前街
一丁目三番

店中中田

臺灣
一手捌

基隆石牌街十九番戶
瀨崎商店
臺北西門街貳丁目
瀨崎支店
臺南下南河街十六番戶
瀨崎支店

廣告
 的 正宗印日本酒
 澤 龜印日本酒
 同 瓶詰
 ア サ ビ ビ 一 詰
 蜂印香窠葡萄酒
 印醬油各種酒
 銘紫新高山
 象印マツチ
 外二
 罐詰白米味噌

8
226

東京目黒
日本麥酒株式會社

東洋第一
麥酒大王



9

F
226

8.4.30

終

